



# ハートランド しぎさん看護専門学校

令和2年度

入 学 試 験

過去問題の紹介

入学希望者の皆様へ

入学試験科目は、**国語総合・教養問題**（英単語・計算のみ）・**小論文**です。

本校の学科試験は、決して難易度の高いものではなく、入学後の学習に支障をきたさない程度の基礎的な知識を持ち合わせておられるか否かを判断させていただくものです。

各科目のポイントと、過去に出題した問題の一部をまとめましたので、学習の参考にしてください。

# [教養問題 (英単語・計算のみ)] 試験時間 60 分

**ポイント** 教養問題では、高校入試レベルの英単語と計算問題に特化した内容が出題されます。

※下記は入試問題の一部の為、実際の問題数とは異なります。

**過去問題 1** 最も適切な単語を選択肢から選びなさい。

- (1) 彼の睡眠を妨げる ( ) his sleep  
① despair ② disturb ③ dictate ④ despise
- (2) まっすぐ部屋に行く go ( ) to the room  
① straight ② forward ③ steadily ④ fiercely
- (3) 才能を示す ( ) a talent  
① dictate ② depict ③ distinguish ④ display
- (4) もっと注意を必要とする ( ) more attention  
① squire ② require ③ acquire ④ inquire

**過去問題 2** 最も適切な意味を選択肢から選びなさい。

- (1) impossible ① 不可欠な ② 不可解な ③ 不可能な
- (2) puzzle ① に質問する ② を当惑させる ③ に影響を受ける
- (3) storm ① 天災 ② 嵐 ③ 雷鳴
- (4) knowledge ① 知識 ② 語彙 ③ 能力

**過去問題 3** 次の日本語に合うように、適する語を ( ) に書きなさい。

- (1) 旅行の前にすべきことがたくさんある。  
I have many ( ) to do before the trip.
- (2) 彼女は友人を見舞いに病院へ行った。  
She went to the ( ) to see her friend.
- (3) いつか留学したいと思いますか  
Do you hope to ( ① ) ( ② ) someday?
- (4) 私は祖父母とよく連絡をとり合っている  
I often ( ① ) ( ② ) my grandparents.
- (5) 私達は互いに助け合った。  
We helped ( ① ) ( ② ).

**過去問題 4** 次の下線部の熟語の意味を答えなさい。

- (1) I think he'll get well soon. 彼はすぐに( )と思う。
- (2) I want to be a nurse in the future. 私は( )看護師になりたい。

(数学) 正数・分数・小数の基本的な計算問題が出題されます。下記は改定前の昨年度の問題です。  
※下記は入試問題の一部の為、実際の問題数とは異なります。

**過去問題 5** 次の計算をなさい。

(1)  $9866 - 8834 + 2472 + 2240 - 9380 + 3636$                       (2)  $-3^2 \times 5$

(3)  $(-8xy)^2 \div \frac{4}{3}x^2y$     (4)  $(-2a)^3 \div 4a^2$

(5)  $\sqrt{6} \times \sqrt{3} + \sqrt{128} - \frac{4}{\sqrt{8}}$

**過去問題 6** 次の方程式を解きなさい。

(1)  $x^2 - x - 20 = 0$     (2)  $(x+3)(2x-1) = 4x-2$

(3)  $x-5=3x+1$     (4)  $(x-3)(x+8)=0$

(5)  $2x+y=x-5y-4=3x-y$

**過去問題 7** 次の式を因数分解しなさい。

(1)  $(x+2)^2 - 5(x+2) - 14$     (2)  $x^2 - 14x + 49$

(3)  $2x^2 + 2x - 24$

**過去問題 8** 次の式を素因数に分解しなさい。

(1) 360

## [ 小 論 文 ] 試験時間 60 分

### ポイント

非常に対策の立てにくい科目ですが、文章力は重視されます。

繰り返し小論文対策を行ってから試験に臨んでください。

なお、本校においては入試説明会で小論文の対策講座を実施いたしておりますので採点者が納得する答案のつくり方を勉強しましょう。

**過去問題** 「『健康な生活』とは」についてサブテーマをつけ、600字以内で述べなさい。

※ 小論文を書く際には、出題された大テーマから何をイメージしてサブテーマを設けるのかが、ひとつのポイントになります。

# 解答例

## 一般教養

過去問題 1 (1) ② (2) ① (3) ④ (4) ②

過去問題 2 (1) ③ (2) ② (3) ② (4) ①

過去問題 3 (1) things (2) hospital (3) ① study ② abroad  
(4) ① communicate ② with (5) ① each ② other

過去問題 4 (1) 良くなる、回復する (2) 将来 (は)

過去問題 5 (1) 0 (2) -45 (3)  $48y$  (4)  $-2a$  (5)  $10\sqrt{2}$

過去問題 6 (1)  $x=-4, x=5$  (2)  $x=-1, x=\frac{1}{2}$  (3)  $x=-3$   
(4)  $x=3, -8$  (5)  $x=-1, y=-\frac{1}{2}$

過去問題 7 (1)  $(x+4)(x-5)$  (2)  $(x-7)^2$  (3)  $2(x-3)(x+4)$

過去問題 8 (1)  $2^3 \times 3^2 \times 5$

## 国語総合

過去問題 1 問一 (あ) オ (い) ウ (う) イ (え) ア (お)エ  
問二 イ  
問三 ウ  
問四 であろう。  
問五 むずかしい～もにあたる  
問六 ウ  
問七 ウ

過去問題 2 問一 ①粘膜 ②服用 ③偏った ④克服 ⑤平衡  
⑥安堵 ⑦治療 ⑧減量 ⑨把握 ⑩興奮  
⑪じゅうとく ⑫おもむき ⑬げねつざい ⑭しょうれい ⑮ののしる  
⑯さはんじ ⑰きおう ⑱あふれる ⑲ふんしつ ⑳はんにゅう  
問二 ① ア ② ウ ③ 面の皮  
問三 ① イ ② ア ③ エ ④ ウ



③、先生A「部長は昨年、決勝で敗退したので、今年の試合で【③】に努め、優勝を果たしました。」

生徒A「昨年のリベンジを果たせて良かったです。」

ア、汚名挽回

イ、汚名返上

ウ、名誉返上

エ、名誉挽回

④、生徒B「この部活の【④】だった部長がやめるなんて、来年からどうしよう。」

先生A「君が次の【④】となれるように頑張っていこう。」

ア、青二才

イ、土性骨

ウ、大黒柱

エ、金釘流

さらに、いろいろ調べているうちに「厚顔無恥」という四字熟語を見つけた。「厚顔」とはあつかましいことで、【 i 】というたとえによく使われ、これに似た言葉に、【 ii 】が厚い」があった。

①、右の文章中のア、エの中で、「申しわけなくて、その人と顔を合わせるのがつらい」という意味の慣用句はどれですか。記号を書きなさい。

②、【 i 】に入る言葉を、次のア、エから選び、答えなさい。

- ア、周囲にあつかましいと思われぬよう、気を遣うこと。
- イ、遠慮のなさも、時にはチャームキングに映るということ。
- ウ、恥知らずで、遠慮がない態度のこと。
- エ、恥ずかしさを隠すために、厚化粧をするということ。

③ 【 ii 】に入る言葉を、三文字で書きなさい。

問三 次の会話の空欄に当てはまる最も適切な表現を、後のア、エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

①、生徒A「誕生日ケーキにさしあげた新作のモンブランへの反応、どうだった。」

生徒B「はい、おいしそうに【 ① 】いらっしやいました。」

ア、いただかれて

イ、召し上がって

ウ、お食べになられて

エ、いただいて

②、生徒B「部長がPKで失敗するなんて【 ② 】こともあるんだなあ。」

先生A「また来年があるがあるじゃないか。部長はきつと頑張ってくれるよ。」

ア、さるも木から落ちる

イ、とんびがたかをうむ

ウ、泣く子と地頭には勝てぬ

エ、坊主憎けりや袈裟まで憎い

過去問題2

次の各問いに答えなさい。

問一、次の①～⑳の傍線部について、漢字の部分はその読みをひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に直しなさい。なお、漢字に直す場合、送り仮名が必要なものは、ひらがなで正しく送ること。

- ① ネンマクに傷がつく。
- ② 毎朝薬をフクヨウする。
- ③ 栄養がカタヨツタ食事。
- ④ 病をコクフクする。
- ⑤ ヘイコウ感覚に優れている。
- ⑥ アンドしてため息をつく。
- ⑦ チリヨウに専念する。
- ⑧ ゲンリョウに成功する。
- ⑨ 現在の状況をハアクする。
- ⑩ コウブンして血圧があがる。
- ⑪ 重篤な内臓疾患。
- ⑫ 趣のある風景。

⑬ 解熱剤を飲ませる。

⑭ スポーツを奨励する。

⑮ 口汚く罵る。

⑯ 彼らの喧嘩は日常茶飯事だ。

⑰ 患者に既往症を尋ねる。

⑱ 感動して涙が溢れる。

⑲ 大事な書類を紛失する。

⑳ 業者が荷物を搬入する。

問二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

授業で体の部位名の入った慣用句を学習したので、「顔」のついたものを儀文で調べてみることにした。すると、次のようなものがあった。

- ア、合わせる顔がない　イ、顔に泥を塗る　ウ、大きな顔をする  
エ、顔が利く



問四、本文には、次の一文が脱落している。どこに入るのが最も適切か、入るべき箇所の直前の五字を答えよ。

○ がそのとき、そもそもどういう意味で「心のケア」が必要なのか考えたのだろうか。

問五、筆者は、いじめ問題に対して、教師がどのような対応をすべきであると考えていますか。その内容を述べた次の○の文の（ ）に入る表現として最も適当なものを、本文中から二十三字で探し、その最初と最後の五字を抜き出さない。

○ 事件をどう受け止めどう理解するのかといった、解決にいたるプロセスを考え、その（二十三字）こと。

問六、文章中に出てくる「押しつけ」や「おまかせ」とは具体的にどのようなことか。次のア～エの中から当てはまるものを一つ選びなさい。

ア、人間関係を築くことが苦手な子どもに対して、「仲間を作ろう」「もっと明るく元気になろう」といったようなアドバイスをすること。

イ、子どもの口からこぼれてくるひりひりした言葉を教師自らが聞くことせず、子ども同士での問題解決を促すこと。

ウ、いじめ問題に対し教師自らが子どもの苦しい言葉を聞くことなく、カウンセリングのプロに任せてしまうこと。

エ、子どもだけでなく先生の心のケアにも配慮するため、カウンセリングだけでなくインタビューもプロに任せてしまうこと。

問七、傍線部（2）「その専門性」とあるが、ケアという仕事の「専門性」とはどのようなものか。最も当てはまるものを選択肢の中から一つ選びなさい。

ア、教師や僧侶、看護師や介護士、臨床心理士、さらにはカウンセラーといった、各職業の資格試験に合格するか、あるいは研修課程を受け、修了することで、「資格」や「免許」を得ていること。

イ、被介護者を一般的な公式に当てはめ、それをなぞるようにしてコミュニケーションをとるといった対応の仕方をもっていること。

ウ、それぞれに異なった状況のなかで生きてきた被介護者に対し、一般的な基準がない中臨機応変に対応する力があるということ。

エ、ケアという、特定の個人にかかわるいとなみにおいて、対象を一般化し、場数をこなした経験をもとに対応できる力があるということ。

オ、問題を抱えたひとを保護し、それぞれの問題に対して臨機応変に世話をすることがあること。

ば、相手の特異性を前にして、状況に応じて、みずからの専門的知識と技能を棚上げにできるということが、その専門性として要求されるのである。そういう場ではたらく柔軟な知性、これこそが個人を相手とする臨時的な場面で何より求められるものである。だからこそ、ケアの現場では、場数を踏んでいるということが大きな意味をもつ。

一般に、制度化された組織では、なすべきことはその分類にしたがって  
どんどん【か】され、【き】されてゆく。先にもみたトランスサイエンス的な状況においては、それらの間隙を見過ぎさないこと、それらをたがいに瓦のように重ね合わせてゆくことが求められる。そのときはたらく知性は、つねに問題の全体をケアするものでなければならない。いかえると、融通のきかない専門家主義のソリッドな知性に対して、みずからに割り当てられた業務を超えて、他者を案じ、全体に気を配りつつ、そのつどの状況に可塑的に対応できるリキッドな知性こそが、ここでは験しにかけられる。あるいは、既定の制度からは見えない存在、外れてしまう存在、それにも応答してゆこうとするのが「知性の公共的使用」のことだといってもよい。

問一、文中の空欄【あ】【い】【お】に入る最も適切な語句を次の中からそれぞれ選び、記号で答えよ。

ア、けれども イ、あるいは ウ、すると エ、さらに オ、また

問二、文中の傍線部 a「気が利く」、傍線部 b「機転が利く」は類義語である。これらとよく似た意味をもつ四字熟語を次の中から選び、記号で答えよ。

ア、以心伝心  
イ、当意即妙  
ウ、電光石火  
エ、意気揚々

問三、傍線部(1)「わたしは強い違和をおぼえる」とあるが、筆者はどのようなことに違和を感じたのか。次の中から当てはまらないものを選び、記号で答えよ。

ア、いじめをめぐる取材に対して、「学校としては把握していなかった」と校長が取材陣に答えていること。

イ、実際に生徒たちからじっくりと話を聴くまえにも関わらず、「六割の生徒」がカウンセリングを必要としていると学校側が判断したこと。

ウ、カウンセリングのプロに教師が学んでから、その教師自身がいじめ問題をめぐって生徒と向きあうこと。

エ、教師が生徒に向き合う前に、応急処置のようにプロによる「心のケア」が必要だと考えたこと。

育者としての自己破産をみずから宣告するようなものではないか。「押しつけ」と「おまかせ」は、こういうかたちで教育の現場にも浸透してきている。ただし、教育現場で起こっているそうした事態を外から批判するだけなら、わたしたちもまた「押しつけ」と「おまかせ」を上書きしているだけのことになる。大切なのは、教育現場とそれを取り巻く地域のひとたちが問題の解決に向けてどのような「協働」のかたちを組みつつ、問題解決にあたるかということであろう。加藤哲夫が述べていたように、「社会的課題は、当然、制度より大きい」のである。

そうした制度の内・外の境界を活動領域としているプロフェSSIONナリが、教師や僧侶、看護師や介護士、臨床心理士、さらにはカウンセラーといった、広い意味でひとをケアする業務に携わる職業人たちである。彼らは資格試験に合格するか、あるいは研修課程を受け、修了することで、「資格」や「免許」を得てその仕事に就く。その意味で、プロフェSSIONナルもしくはエクスパートとして一般に認められている。が、そのような「プロ」であるはずのひとがしばしば、みずからを「プロ」と呼ぶことに深い疑いやためらいを感じる。どうしてなのか。それは、ケアという仕事、専門の知識や技能を身につけているということをはみ出る仕事、その意味で制度をはみ出る仕事であることを、どこかで感じているからである。

そのような仕事には、加藤があげていた制度と連動すべきさまざまな支援活動とともに、制度と制度外の境界に位置するがゆえに生じるさまざま

な困難がある。ある知識と技能の修得を前提とした専門の仕事を担っているという、プロフェSSIONナルとしての気概が、ケアという、ひとを相手とする心身ともに消耗する苛酷な現場で、仕事をやりぬくときの支えになっているのはいうまでもない。【え】、そこからくる強い使命感が逆に「燃えつき」や「共感疲労」といった現象につながりやすいという面も見逃してはならない。そこでは、ケアの専門職が、問題を抱えたひとを保護し、世話するという一方通行の行為がイメージされているが、ケアという関係は双方向的なもの、互換的なものである。くわえてそれは、身体をつうじた関係であるから、いやでも感情を巻き込み、相性といわれるものの抜きの透明な関係ではありえない。だからこそリーダーは担当者の適切な交替をときに図りもする。テクノロジーというのは、指示された方法に則ればだれがやっても同一の結果が出るものであるが、ケアにはどんな被介護者にも通用するマニュアルというものはありません。ケアという、特定の個人にかかわるいとなみにおいては、一般的な基準ではなく、それぞれに異なった状況のなかで生きてきた個々の具体的な個人とのかかわりという現場での対応のあり方が問題になるのである、だから一般的な公式がそのままあてはまるわけではないのであって、そのいわば臨機応変の対応の仕方を身につけていることがあえて言えば、その「専門性」だということになる。

臨床的な現場とは、たえず予期せぬことが起こる場、完全なコントロールということがおよそ不能な場のことであり、【お】そこに居合わせるひとの「だれ」によって場の意味が変わるような場でもある。気が利くとも、機転が利くともいっていいが、要するに、そういう場でいざとなれ

か、そこが理解しにくい。【あ】、じつさいに生徒たちからじっくり話を聴くまえに、そう、カウンセリングを開始する前に、「六割の生徒」がカウンセリングを必要としているとどうしていえるのか、これもわたしは理解できない。

カウンセリングというのは、相手の気持ちを聴くことからはじまる。しかし、その気持ちをだれがはじめに受けとめるのがよいのか、学校でその声を最初に聴くのが見知らぬ臨床心理士であってほんとうにいいのか、と問うたうえで、くだんの措置を決定したとはわたしにはおもえない。それよりもむしろ、この事件をどう受けとめるのか、どのように理解するのか……。その、むしろ作業に最後まで生徒たちともにあたるのが教師の仕事なのではないのかとおもう。その作業をどう担うかをじっくり考える前に、その作業をプロに回してしまう、つまりじぶんはその解決にいたるプロセスから生徒より先に下りてしまう、ここに今回の措置の大きな問題があるようにわたしはおもう。

ちよつと空想してみよう。「勉強がおもしろくない」「給食がまずくて食欲がわかない」「Aちゃんが近くにいと、何かされないかと不安で、授業に集中できない」……。こう訴える生徒がみなカウンセラーに回されるとする。【い】教師になんの仕事が残るのか。授業？ だったら教員免許をもったカウンセラーに授業も含めぜんぶまかせてしまったらいい……。残念ながら、話としてはそうなのである。が、じつさいには、教師がみなカウンセラーとしての心得をも完全ではなくともわかまえていれれば

いだけのことなのだ。ちよつと優れた医師がナースの技術と感受性をあわせもっているように。

カウンセリングのプロに教師が学んでから、その教師自身がその難しい問題をめぐって生徒と向きあう、というのならまだわかる。わたしがひっかかるのは、ふだん子どもたちと接していないカウンセラーにまかせるほうが、生徒たちと毎日顔をつきあわせている教師たちが対応するより安心で安全だとする、現場の空気そのものである。カウンセリングのプロに「委託」することで、子どもの口からこぼれてくるひりひりした言葉をみずからの手で掬いとろうとはしなくなることで、ますます子どもから隔たってしまうということを恐れる。「仲間を作ろう」「もっと明るく元気になるう」というのはここでは禁句である。そうなれない、【う】そのように演じられないからこそいじめに遭ったわけで、そんな不器用な子どもでも、そのまま、怖がることなくそこにいられるような、そういう場所をどう確保するか、ケアは懸かっている。子どもは子どもたちだけで社会を作っているのではない。子どもたちを取り巻く環境には、同時代の社会のさまざまな軋みやひび割れが陰をさす。いや、地震のように底から揺さぶる。だれにもそれを防ぐことはできない。が、そうした綻びを気づかうことはできる。その綻びを気づかう大人の姿を、子どもたちはきつと視線の端で見ているにちがいない。

事が起これば、オウム返しに「早急にスクール・カウンセラーをお願いしなければならぬとおもいます」と言って、プロに「委託」するほうに動く。それはリスク管理のシステムとしてはありうるかもしれないが、教

## 「国語総合（古文・漢文除く）」試験時間 60分

### ポイント

入学後、常用漢字の「読み書き」「敬語の正しい使い方は重要ですので、漢字・熟語・敬語等の知識を問う問題は出題されます。また、文章を読み取る力、内容を要約する力、つまり「読解力が求められます。よって、問題1には長文読解問題が必修で出題されます。」

※下記は入試問題の一部の為、実際の問題数とは異なり  
ます。

### 過去問題1

次の文章を読んで、問一～問七に答えなさい。（ただし、字  
数指定のある問いは全て句読点・記号も一字とする。）

いじめをめぐる報道で、校長がまるで口裏を合わせたかのように、「心のケアが必要だ」「学校としては把握していなかった」と答えている姿にふれて、さぞかし大変だろうなどその苦勞を察しつつも、それにはやはり強い抵抗をおぼえる。後者の台詞は、報道陣の「責め」を肌で感じての対応だろうが、とっさに責任の所在に気がゆくには首をかしげる。が、それ以上に、とるべき措置としていちばんに「心のケア」のプロ、スクール・カウンセラーの導入を考えつくことに、わたしはひっかかる。

ある中学校で殺傷事件が起きたときに、報道陣のインタビュにに応じて校長が次のように発言した。「早急にスクール・カウンセラーに、子どもたちの心のケアをお願いしなければとおもっています」。そして、その発言からほとんど日をおかずにある分析結果（？）を学校として発表した。事件に間近で遭遇した生徒たちは「教室の前を通るのが怖い」「学校

へ行くのが怖い」と訴え、調査によると「六割の生徒に心のケアが必要だ」ということで、学校側はケアにあたる臨床心理士を三名から九名に増員することにしたというのである。

取材陣が対応についての考えを迫ったのかもしれない。そうだとしても、このようなかたちで、あたりまえのようにすみやかに、生徒たちのケアをめぐる決定が下されることに、<sup>①</sup>わたしは強い違和をおぼえる。事後措置が、何のひっかかりもなく、なめらかに進行してゆくことそれじたいに、ひっかかるのだ。

校長はおそらく、こういうときは生徒たちの「心のケア」に努めること、そのためにはプロのカウンセラーに協力を求めることが必要だという認識をもっていたからこそ、右のような発言を間髪おこさずにしたのであろう。生徒たちの何を心配したのだろうか。

生徒たちがひどく動揺していないはずはない。いうまでもなく、生徒たちはこうした凶悪事件のみならず、災害に遭ったときも、家族崩壊や友人の裏切りや失恋といった痛手を個人的にこうむったときにも、おなじように衝撃を受ける。が、だからといって、ただちにプロによるカウンセリングが必要なわけではない。緊急避難としての「心のケア」というのは、たしかに重要であるとおもう。ひとが心身ともに砕けて、その場に倒れそうになっているとき、つかえ棒になれるひと、「荷物半分もってあげるからね」とずっと傍らにいてくれるひとがそばにいるのは、とても大事なことだ。しかし、どうしてここで、教師としてなすべきことよりも先に、まるで応急処置のように、プロによる「心のケア」が必要だと考えたの

## <ハートランドしぎさん看護専門学校 合格への道！>

本校では、オープンキャンパスにおいて入試対策講座を開催致しております。

入試の傾向や看護学生に必要な知識などを本校教員が紹介致しております。

看護師を目指される方は、是非、学校説明会にお越しいただき入試対策講座を受けられることをお奨め致します。



